

海部地方消防指令センター

高機能消防指令システム





119番

通報受付から事案終了まで

119番通報受付

固定電話やIP電話、携帯電話からの119番通報受付と同時にシステムが起動します。

災害種別の決定

通報内容から災害の種類や規模を決定します。

災害地点の決定

位置情報通知システムで通報者の発信位置を検索し、災害発生場所を特定します。

予告指令

災害発生場所を管轄する署に対して、音声合成による予告指令を放送します。

出動車両編成

災害の内容や場所に応じて、最適な出動隊を自動的に編成します。

出動指令

出動隊が所属する署へ音声合成による出動指令を出し、災害内容や地図が記載された指令書が発行されます。

出動

指令を受けた出動隊が災害現場に急行します。

報告

災害活動終了後、災害内容や活動状況の報告書を作成します。

高機能消防指令システム

高機能消防指令システムを構成する機器と設備

指令台／指揮台

119番通報受付から出動車両の自動編成（計画編成・直近地編成）、出動指令までの一連の事案処理を行う指令管制の主装置部です。輻輳時には1席の指令台で2事案対応できるため、3席の指令台・1席の指揮台で最大8事案扱うことができます。



指令制御装置

高機能消防指令センターの通信系の交換、制御を行う中核装置（心臓部）です。制御処理部及び通話路は、信頼性を重視し二重化が図られています。自動出動指定装置等のコンピュータ（情報系）機器障害時においても119番回線、指令回線接続等は影響を受けることなく受付や指令が可能です。



署所端末装置

各消防署や出張所に設置し、指令台から音声による災害出動指令の受令や、署所の車両状況などの登録を行います。

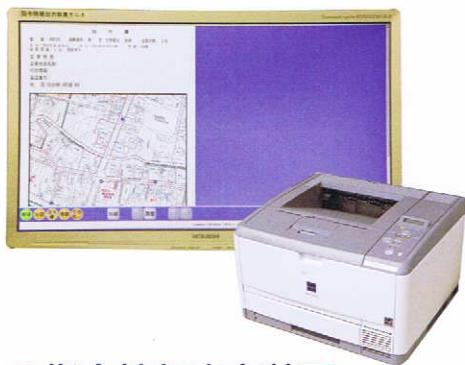


支援情報表示盤

気象情報や災害件数、119番着信情報など出動時の活動を支援する情報を表示します。災害発生時には災害事案の進捗状況が自動で表示します。

多目的情報表示盤

災害発生地点の地図、指令台のディスプレイなど多目的な情報を表示する装置で、指令センター内でさまざまな情報の共有ができます。



■ 指令情報出力装置

出動指令と連動して、災害出動する署所にて地図付出動指令書の受信・発行を行います。



■ 署所情報表示盤

各消防署・署所に設置し、署所ごとの車両運用状況や災害受付件数、気象情報、地図情報などの各種情報を表示します。



■ 順次指令装置

災害発生時、非番職員、消防団員及び関係機関に順次呼出による召集指令を行う装置です。指令台で覚知した災害内容に基づき、自動的に順次指令メッセージを録音します。



■ 気象情報収集装置

各消防本部の風向、風速、温度、雨量、気圧、湿度の気象情報を測定し、出動指令書や表示盤へ気象データの反映を行います。



■ 出動車両運用管理装置

指令センターの管理装置と各車両に設置された車両運用端末装置から構成され、災害出動する車両へ地図付き指令情報などを送信します。



■ システム監視装置

高機能消防指令センターを構成する各種装置の運用状況及び障害発生状況等を監視、表示する装置です。自動出動指定装置、地図等検索装置の各種データのメンテナンス機能を有しています。



■ 消防情報支援システム

情報管理サーバと各署所・各課に設置されるクライアント端末がネットワーク接続され、警防・予防・総務が扱う各種報告書や証明書などを作成できます。



■ FAX119番受信装置

電話での通報が困難な方からのFAXによる119番通報を指令台にて受信します。



■ 敷地監視カメラ設備

消防署・出張所の玄関や車庫に設置し、車両の出動状況や訪問者（駆け込み通報）の映像を消防本部で確認します。



■ eメール一斉指令装置

自動出動指定装置と連携し、予め登録されている連絡先（消防職員・消防団員等）に対して指令情報や災害情報をメールにて送信します。



■ メール119番受信装置

事前に登録された聴覚障がい者等から、携帯電話メールまたはパソコンメールによる119番緊急通報を受信する専用端末です。



海部地方消防指令センター 構造及び特徴

免震床

非常用発動発電機

大規模災害時の業務継続に対応

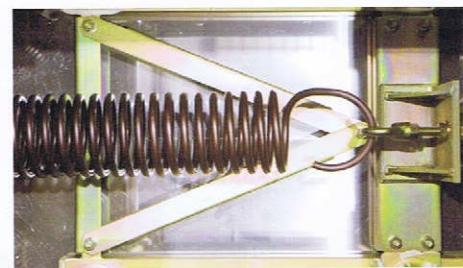
消防機能の心臓である指令システムを地震等から守ります。

免震床

建造物の工法である免震構造を床面に応用した、地震の揺れを軽減させる地震対策装置です。免震床を導入して、指令システムの設置箇所に免震性を備えました。



ボールベアリングが付いた免震フレームに載っています。
ダンパーにより建物から伝わる揺れを吸収し、コイルばねの復元力で元の位置に戻します。



メリット

免震が耐震や制震と比べて優れている点は、機器の転倒・損壊による被害を抑制できる点です。免震構造によって建造物の揺れが軽減されると同時に、その内部に配置された物体の揺れも軽減されるため、固定の難しい機器類の転倒や損壊を防ぎます。その結果、建造物内部の被害が最小限ですむため、被災直後でも通常の業務を早急に再開できます。

非常用発動発電機

海部地方消防指令センターの商用電源停電時に、指令センター機能を維持するための電力を供給します。



海拔 0 メートル以下のエリアが多い地域性から、液状化に対して優れた耐震性を有する基礎構造を施工した架台の上に設置し、災害非常時においても3日間（72時間）の安定的な電力供給を可能にします。



メリット

商用電源停電時に自動的に発電を開始して必要電力を確保、指令センター機能の維持を可能にします。過負荷が掛かった場合の装置保護機能や、異常自動検知によるエンジン停止機能、漏電検知時の回路遮断機能などを有し、大規模災害時の安定かつ継続的な電力供給を可能にします。屋外に設置したキューピカル構造であること、災害に強い特長の一つです。